

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	公正会 沢田広志
視察・研修名	東神楽町
視察・研修の 目的	(1) 健康食育タウン事業について
日 時	令和4年11月7日(月) 10時00分～11時45分
視察研修の 概要	<p>○東神楽町健康食育タウン事業は、「東神楽町食育推進計画」および「健康ひがしかぐら21」の目標達成を目指し、町民一人ひとりの「からだを見える化」することで、生活改善等の行動変容を促進し、主体的な行動を促すことで「健康格差(疾病・早世)の縮小」「健康寿命の延伸」「医療費の適正化」につなげることで、また町内団体等と協働することで、「地域の活性化」も図ることを目的とするのが事業の大きな目的となっております。</p> <p>○健康の駅は、町役場入口近くに設置され、体脂肪などを測る体組成計、血圧計が備えられており、提携先の健康計測機器メーカー・タニタに、町民が持っている活動量計のデータを送信する装置が置かれていました。計測スポット健康の駅は、総合体育館、ふれあい交流館等、役場を含めて計5ヶ所にあり、町民が気軽に立ち寄ることができるようになっております。</p> <p>○健康食育コンシェルジュは、平成28年度に㈱タニタヘルスリンクの協力のもと養成講座を開講して、4名が健康食育コンシェルジュに認定されて活動しております。活動としては、料理教室・健康運動教室・体組成計測定結果の説明・各種イベントの企画など、他に広報誌への寄稿があります。また、コンシェルジュを核とした健康づくりの仕組みを作り上げて、地域の一員としての健康情報の拡散、地域の活性化へと取り組まれておりました。</p> <p>○健康くらぶ宣伝部員を増やしていくこととなり、健康くらぶの魅力・活動についての情報発信、更にイベントなどの協力をしてもらうように取り組んでおりました。</p> <p>○2021年度の新たな取り組みとしては、①歩いて野菜ゲット!ベジたべるんピック2021、②野菜もりもり ひがしかぐランチ、③10/3 登山の日イベント、④ロゴマークの作成、⑤「くらぶ会員の声」の新設、⑥LINE会員への運動動画配信等、地元密着のユニークな企画取り組みがあることに感心させて頂きました。</p> <p>○楽しく健康になれる取り組みが評価されて「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」も受賞されております。</p>

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	公正会 沢田広志
視察・研修名	苫前町
視察・研修の 目的	(1) 2050 ゼロカーボンシテイ宣言の取り組みについて (2) ごみ袋 バイマスプラスチック製導入について
日 時	令和4年11月8日(月) 10時00分～11時45分
視察研修の 概要	<p>(1) 2050 ゼロカーボンシテイ宣言の取り組みについて</p> <p>○宣言に至る経緯について、平成9年から風力発電施設の整備が始まり、平成12年までの間に、公設・民設合わせて町内3発電所で風力発電の運転が開始されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この3発電所の合計出力は5万2,800Kwで、当時、国内初の大規模風力発電基地の誕生であり、これらによる年間発電量は約1億4千万kwh/年に及び、苫前町内におけるCO2排出量をはるかに超えています。</li> <li>・令和の時代を迎え、本町内の風力発電施設も運転開始から20余年を経過したことから、全国初となる建て替え事業に令和2年から着手、令和4年12月にはすべてが完了する予定です。</li> <li>・この様に、苫前町では、ゼロカーボンやカーボンニュートラルといった言葉が定着しつつある今日のはるか20年以上前から風力を活用した再生可能エネルギー事業を展開し、地球温暖化防止に実践的に貢献していることなどから、脱炭素社会の実現に向けた姿勢を町として明確にすることとなりました。</li> </ul> <p>○苫前町ゼロカーボンシテイ宣言について、ゼロカーボンシテイ宣言の方針については、庁内横断的な組織として「苫前町脱炭素推進研究会」を設置し共有している。宣言については、環境省へ連絡を行ったほか、他自治体の宣言事例等を参考に作成し、また、公表は、報道発表により行った。議会へは、宣言後の常任委員会へ「脱炭素推進に関する取り組みについて」として報告し、併せて「苫前町脱炭素推進条例」の制定について協議しました。</p> <p>○宣言後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苫前町脱炭素推進条例の制定について、議会常任委員会での協議に加え、パブリックコメントを実施した後、令和4年6月施行。</li> <li>・苫前町再生可能エネルギー導入推進計画の策定について、地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業（環境省）の採択を受け、現在作業中である。（令和5年度はじめには策定予定）</li> <li>・その後、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定（令和5年度）、脱炭素先行地域指定のための計画策定（令和5年度予定）</li> </ul>

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	公正会 沢田広志
視察・研修名	苫前町
視察・研修の 目的	(1) 2050 ゼロカーボンシテイ宣言の取り組みについて (2) ごみ袋 バイマスプラスチック製導入について
目 時	令和4年11月8日(月) 10時00分～11時45分
視察研修の 概要	<p>(2) ごみ袋 バイマスプラスチック製導入について</p> <p>○生ごみはたい肥化（苫前町・羽幌町・初山別村による広域ごみ処理）平成27年9月より、6ℓ、12ℓの他、3ℓ用を追加して、形状を手提げタイプへ変更した。</p> <p>○製造単価 令和4年度では 3ℓ：26.3円/1枚 6ℓ：31.0円/1枚 12ℓ：52.3円/1枚</p> <p>○販売単価 3ℓ：25円/1枚 6ℓ：50円/1枚 12ℓ：100円/1枚</p> <p>○風力発電の売電収入（1億2千万円程）があり、内700万円をごみ収集袋へ令和3年8月1日より住民への還元として活用した。 販売単価3ℓ：5円/1枚 6ℓ：10円/1枚 12ℓ：20円/1枚 他に町内住宅のLED照明への助成（1/2助成）事業に活用している。</p> <p>○バイオマスプラスチック等製ごみ袋製造にあたり、厚さを0.03mmから0.04mmへと変更して、厚さを0.01mm増やした。 土壌分解を考えるとこの0.04mmが限界であると説明受けました。</p> <p>○バイオマスプラスチック等製ごみ袋への対応 「袋の強度」と「袋の保管管理」が課題であると説明を受けて ・保管管理では太陽光と湿度に弱いため劣化が進みやすい ・袋の販売店においてもしっかりとした保管管理が必要である。</p> <p>○製造会社は、北海道内では2社、見積合わせを行っている。</p>

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	公正会 沢田広志
視察・研修名	増毛町
視察・研修の 目的	(1) 健康づくり推進について
日 時	令和4年11月8日(月) 14時00分～15時45分
視察研修の 概要	<p>○増毛町は、高齢者が活躍する町づくりには、右肩上がりの介護認定率の対策が不可避と考え、その要因となっている脳卒中が多い原因に高血圧の可能性があり、特定健診の受診率を上げて町民の健康課題を明確にすることを求められました。</p> <p>○特定健診の受診勧奨として、「広報誌への掲載」「未受診者へハガキ送付」他、個別の健診受診のおさそい、データ受領開始など受診しやすい環境整備等の取組みがされました。</p> <p>○介護費用・認定率が高い理由として、塩分過多の生活習慣が一因で塩分を取りすぎてしまう環境があり、行政による減塩環境整備が必要とされました。</p> <p>○塩分を取りすぎてしまう環境として、①漁業の町として加工品の製造が盛ん、②増毛の肴は増毛の酒が合う、③魚が身近にある増毛、④食文化・伝統の味付け、が考えられました。</p> <p>○行政による減塩の環境整備として、①増毛醤油の開発、②減塩食品の町民への普及、③議員・職員の意識改革</p> <p>○特定健診受診率向上、保健指導等により高血圧治療者が増えたが、メタボの課題も浮き彫りとされ、受診率を上げることで町の課題が見えてきました。</p> <p>○見えてきた課題を解消するために、30分以上の運動を週2日以上行っている者の数値が、全国・全道より下回っていることから、平成29年から生涯現役で働き続けられる町を実現する健康寿命延伸人材育成事業の実施へと取り組むこととなり、運動施設の整備や指導者を配置して、健康ましけウオーキング、ストレッチヨガ、関節トレーニング、運動施設の開設が行われました。</p> <p>○このような取組みにより、介護保険料・給付費、医療費右肩上がりとなり成果が見えてきております。</p> <p>○「運動習慣の普及・定着」と「高血圧ゼロのまちプロジェクト」の両輪で健康寿命を延伸、生涯現役で社会参加できる町を実現するために「増毛町スポーツ・健康まちづくりプロジェクト」に取り組んでおりました。</p>

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと